

From Ibigawa SABO

# 事務所職員が選ぶ 2013 越美山系砂防 5大ニュース

今年も残りあとわずかとなりました。2013年の越美山系砂防事務所の出来事や話題を、事務所職員が選ぶ5大ニュースとして、昨年に引き続きまとめてみました。

## 第1位 宇津志谷第1砂防堰堤が竣工

本県市根尾宇津志(ねおうし)地先で、平成22年より工事を進めてきた宇津志谷第1砂防堰堤(堰堤高H=13.0m)が完成し、9月8日に竣工式典を行いました。

式典には武藤衆議院議員を始めとする多数の来賓や地元住民、工事関係者の列席のもと執り行われ、用地提供者への感謝状授与や、地元園児や来賓者による久寿玉開披等が行われ、砂防堰堤の完成を祝いました。また、同堰堤建設に伴う補償工事において新設された宇津志地区簡易水道施設について、梅山中部地方整備局長から藤原本県市長への引渡式も併せて行われました。



久寿玉開披の模様



藤原市長への目録授与

## 第2位 TEC隊員として伊豆大島へ派遣

台風26号による豪雨で、甚大な被害を受けた伊豆大島へ、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)第2陣として、10月22日から28日迄大塚副所長及び高橋設計係長が派遣され、現地調査等を行いました。

越美班は、最も被害の大きかった大金沢の源頭部調査や、台風27号通過後の避難命令解除のための調査を行いました。被災範囲が広く、主要な道路は通行可能となっていたため、溪流状況調査にはかなりの距離を徒歩で移動するなど、肉体的にもかなり過酷な調査のようでしたが、任務を終え無事帰所され、職員一同安堵しました。



伊豆大島の被災状況



大金沢源頭部の調査

## 第3位 事業継続の方針が了承される

9月30日に平成25年度第4回中部地方整備局事業評価監視委員会が開催され、当事務所の「越美山系直轄砂防事業」も今後の事業の対処方針について審議がされ、対処方針を「継続」とする原案について了承されました。

揖斐上流域には、大規模崩壊地や土石流危険溪流等の荒廃地が広く分布しており、今後も、地域の安全・安心のため事業を進めてまいります。



事業評価監視委員会の模様

## 第4位 里山探検隊を開催

揖斐川流域の住民の方を対象に、揖斐川上流部の里山の暮らしや文化に触れ、交流を通じて山と水のかかわりや、水源地保全及び防災の大切さを学ぶ「里山探検隊」の活動を、6月4日及び8月7日に開催しました。

今年の参加申し込みは定員を大幅に上回り、抽選により参加者を決定させていただくほどの大人気でした。また、9月16日に予定されていた第3回目の活動は、台風26号接近の影響により中止となり、参加者からは「是非参加したかったのに...」との声もありました。



徳山ダム湖からの見学

## 第5位 土砂災害から生命・財産を守ります

5月15日国会において平成25年度予算が成立しました。当事務所においては、昨年度末に成立した補正予算と併せて例年のほぼ2倍に近い約32億円の事業費により、事業を進めてまいりました。

職員一同疲労困憊のなか、地域の安全・安心を確保するために、精一杯走ってきた年となりました。

来年も皆様に親しまれる誌面を目指します。これからもよろしくお願いいたします。



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: [ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp](mailto:ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp)